

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-151	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	英Ⅱ・325	DUALSCOPE English Expression Ⅱ		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者の生活に即した題材を用いて、英語による**基礎的かつ実践的な発信技能**を習得させること、またそれによって**積極的にコミュニケーションを図り**、事実や意見などを**多様な観点から考察する姿勢や能力を養う**ことが可能となるよう留意した。

1. 言語活動の題材は学習者に親しみやすく、かつ、学習者の**生きる力**を育成する内容豊かなものを選んだ。
2. 言語材料に関しては、「英語表現Ⅰ」との連携を考慮して**基本事項の定着**を重視するとともに、その基礎を活用して**英語表現の能力**を伸ばすことが可能となるように選定した。
3. 「書く」「話す」の**生産的 2 技能**を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の**受容的 2 技能**とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が**幅広い言語活動**に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を習得して、主体的に**社会の形成に参画し**、**自他国の伝統・文化を尊重**しつつ、**国際社会の平和と発展に寄与**する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し CAN-DO List for Active English	・各SECTION, 各STAGEの目標を具体的に提示することで、学習意欲を喚起するとともに、英語による表現活動への取り組みを促して、自主及び自立の精神を養う。(第2号)	前見返し
SECTION 1 STAGE 1 STAGE 2	・使用場面や機能を念頭において、言語の実際の使用方を理解しようとする。(第1号) ・言語の身近な使用例から、コミュニケーション・ツールとしての英語の重要性を認識する。(第5号) ・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を習得する。(第1号) ・英語で表現する際のポイント等を理解し、コミュニケーションを図る力を培う。(第1号)	English in Action (10,12頁他) English in Action (10,12頁他) TARGET SENTENCES (10,12頁他) Scope for Expression (10,12頁他)

	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現するための知識を、反復練習により定着させる。(第1号) ・自己表現活動を通じて、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。(第2号) ・ペアワーク等を通じて、相互の意見や関係性を尊重する態度を養う。(第3号) ・求人情報を扱う題材を通じて、職業への意識づけを行い、勤労を重んずる態度を養う。(第2号) ・防災対策を扱う題材を通じて、命を尊ぶ意識を養う。(第4号) ・オリンピックを扱う題材を通じて、国際社会の一員である自覚を促す。(第5号) 	<p>EXERCISES (11,13頁他)</p> <p>Let's Try! (11,13頁他)</p> <p>Let's Try! (11,13頁他)</p> <p>English in Action (58頁)</p> <p>English in Action (32頁)</p> <p>English in Action (60頁)</p>
SECTION 2 STAGE 1 STAGE 2	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を習得する。(第1号) ・英語で表現するための知識を定着させる。(第1号) ・英語で論理を展開する際のポイント等を理解し、コミュニケーションを図る力を培う。(第1号) ・自己表現活動を通じて、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。(第2号) ・ペアワーク等を通じて、相互の意見や関係性を尊重する態度を養う。(第3号) ・手巻き寿司や彦根市を扱う題材を通じて、日本の文化全般の理解を深める。(第5号) ・環境問題や動物を扱う題材を通じて、環境保全に寄与する態度を養う。(第4号) ・「住みよいまちづくり」「カフェテリアの改善」等、他者とのかかわりを扱う題材を通じて、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号) 	<p>LECTURE ROOM (64,66頁他)</p> <p>CHECK (65,67頁他)</p> <p>CORE EXPRESSIONS (78,80頁他)</p> <p>Activity (65,67頁他)</p> <p>Activity (65,67頁他)</p> <p>LECTURE ROOM (68頁), Activity TASK A (79頁)</p> <p>LECTURE ROOM (70,74頁), Activity TASK A (83,85頁)</p> <p>LECTURE ROOM (80頁), Activity TASK A (81頁)</p>
SECTION 3	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でプレゼンテーション、ディスカッション、ディベートするための基本的な知識を習得する。(第1号) ・プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートにおける相手への敬意と気遣いの重要性から、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号) ・男女・人種等において、偏りが生じないように配慮することで、平等意識や公平の観念を養う。(第3号) ・ボランティア活動を扱う題材を通じて、公共の精神、社会への参画を意識させる。(第3号) 	<p>LECTURE ROOM (88～89頁他)</p> <p>Acting Out (92～93頁他)</p> <p>Let's Try! 写真 (31頁), Acting Out (92～93頁他)</p> <p>Acting Out (98～101頁他)</p>
Tips for Expression ①～④	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を習得する。(第1号) ・ポライトネスを扱うことで、男女・人種等において、偏りが生じないように配慮し、平等意識や公平の観念を養う。(第3号) ・相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号) 	<p>Tips for Expression ①②</p> <p>Tips for Expression ③④</p> <p>Tips for Expression ③④</p>
後付	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現するための基本的な知識を、反復練習により定着させる。(第1号) ・身の回りの事柄に関する語彙を増やし、さまざまな話題について英語で表現する能力を養う。(第1号) 	<p>基本例文一覧 (110～121頁)</p> <p>トピック別重要語句 (124～131頁)</p>
後見返し SECTION 3 有用表現	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートに有用な英語の表現を習得する。(第1号) ・相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号) 	<p>後見返し</p> <p>後見返し</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

文法の復習からパラグラフ・ライティング、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートまで、表現力を段階的に養成する3セクション構成

A. SECTION 1 (Essential Rules for Communicative Activities)

英語で明確に表現できるようになることが目標のセクションです。STAGE 1では英語特有のルールを復習して、表現力を養成します。また、STAGE 2では使用頻度の高い構文等を用いて、トピック特有の語彙も習得しつつ、表現力を磨きます。

B. SECTION 2 (Effective Skills for Communicative Activities)

英語で論理的に表現できるようになることが目標のセクションです。STAGE 1ではパラグラフの構造を理解し、つなぎ表現を活用することで、論理的に表現する力を養成します。また、STAGE 2では説得力のある展開パターンを用いて、さまざまなトピックについて論理的に表現する力を養成します。

C. SECTION 3 (Communicative Activities)

英語で論理的に意見を述べたり、議論したりできるようになることが目標のセクションです。プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートの基本を学習して、発信力を高めます。

II. 各セクションの構成

A. SECTION 1 (Essential Rules for Communicative Activities)

1. STAGE 1

English in Action : その課で学習する文法を、どのような場面・状況でどのように使うのかを確認。

English in Action

STEP 1 Find out about a hotel in Kanazawa.

Nagomi

Reviews

★★★★★ Reviewed 2 days ago

For a comfortable stay in Kanazawa, I recommend Nagomi, a Japanese-style inn. The location is excellent. Just a three-minute walk from the station brings you to the hotel. It is a small, cozy hotel with only eight rooms. The staff are friendly and some of them are good speakers of English. You can enjoy a delicious Japanese-style dinner and have a good sleep as well!

Rating

Access ★★★★★ Service ★★★★★
Facilities ★★★★★ Meals ★★★★★
Cleanliness ★★★★★

STEP 2 Listen and answer true or false.

(1) T / F (2) T / F (3) T / F

TARGET SENTENCES : 表現の骨組みとなる文法を学習。Scope for Expressionでは表現上のポイント等も紹介。

EXERCISES : 演習形式で文法知識を定着。

Let's Try! : 文法知識を活用し、英語で表現する活動へと展開。

Let's Try!

① Talk about the questions in pairs.

(1) What should be done to make your city a better place to live in?

(2) What makes you think so?

② Answer the questions in 30 words or so.

2. EXTRA UNIT 1~3, BONUS UNIT (名詞, 冠詞, 形容詞, 前置詞の使い方)

<EXTRA UNIT 1~3>

Visual Info : 板書風解説による既習事項の確認.

TARGET SENTENCES : 表現する上で基本となる名詞, 冠詞, 形容詞を学習. **Scope for Expression**では表現上のポイント等も紹介.

EXERCISES : 演習形式で名詞, 冠詞, 形容詞を定着.

<BONUS UNIT>

イラストを表現することで, 前置詞の使い方を習得.



BONUS UNIT
Prepositions

Q. Fill in the blanks to describe the picture.

〈駅前〉

- ① Ken happened to meet Emi () the platform. ⑤
- ② The clock () the wall is showing six o'clock () the evening. ⑥
- ③ Buses run () the train station and the port. ⑦

3. STAGE 2

English in Action : その課で学習する構文について, その使い方を確認.

TARGET SENTENCES : 構文を各トピック特有の語彙とともに学習. **Scope for Expression**では表現上のポイント等も紹介.

EXERCISES : 演習形式で構文を定着.

Let's Try! : 構文を活用し, 英語で表現する活動へと展開.

B. SECTION 2 (Effective Skills for Communicative Activities)


1. STAGE 1

LECTURE ROOM : モデル・パラグラフとその解説を読んで, パラグラフの構造とつながり表現の基本を学習.

Check : 活動を通して, つなぎ表現の使い方を確認.


Activity : つなぎ表現を活用して80語程度の英語で表現 (STEP 1). その英文を利用して, STEP 2, 3ではペアワーク, グループワークへと展開.

Activity

 **STEP 1** Write a paragraph about someone you respect.

- ① Who is someone you respect?
- ② Write a topic sentence for your paragraph.
- ③ Write sentences supporting the topic sentence.
- ④ Write a concluding sentence.
- ⑤ Write a paragraph in 80 words or so, using the linking words on page 64.

STEP 2 Get into pairs and exchange your paragraphs. Make a comment or a suggestion on your partner's paragraph to help make it clearer or more interesting.

 **STEP 3** Tell your idea to the class. After listening to a classmate's idea, ask the speaker a question.

2. STAGE 2

LECTURE ROOM : モデル・エッセイと**CORE EXPRESSIONS**を読んで、各タイプ特有の
パラグラフの展開パターンと有用表現を学習。

CORE EXPRESSIONS

1. **When you hear the word *washoku*, you may think of traditional Japanese cuisine.**
事物を紹介する際、読み手に対し、その知識の有無を問うセンテンスで始める展開しなさい。
説明 Do you know (of/about) ~? / Have you ever heard of ~?
4. **Three of the basic features of *washoku* are as follows.**
このセンテンスで始めた後、紹介する事物の特徴を列挙することで論理的に展開できる。
説明 There are three points to remember.
13. **Japanese restaurants are increasing in number all over the world.**
世界的な評価や傾向など、客観的事実を述べることで印象づけることができる。
注意 動詞 increase に in number を挿入し、主語を The number of Japanese restaurants にす
るなどして、増える主体が「数」であることを明確にして用いる。

Activity TASK A : パラグラフの展開を意識して、150語程度の英語で表現（**STEP 1, 2**）。その英文を利用して、**STEP 3**ではグループワークへと展開。

Activity TASK B : **TASK A**の内容を参考に、与えられたテーマから1つを選んで英語で表現する活動へと展開。

CHECKLIST : リストに沿って、エッセイの展開パターンの妥当性を確認。

CHECKLIST

- Did you introduce the topic in the introduction?
- Did you use linking words to explain the features logically in the body?
- Did you restate your main idea effectively in the conclusion?

C. SECTION 3 (Communicative Activities)

1 見開き目 : **LECTURE ROOM**では学習に必要な基礎知識（用語・基本ルールなど）の紹介。知識の習得だけでなく、準備段階の工夫や実践時の注意点なども確認。

2 見開き目 : 習得した知識を2種類のタスクで活用。**TASK A**はリーディング→スピーキングの活動。各設問に取り組むことで、学習項目（プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート）の流れが確認可能。**TASK B**はライティング→スピーキングの活動。トピックの選択、展開の工夫から実践まで、学習項目の一連の流れが体験可能。

3 見開き目以降 : **Acting Out**ではゲーム感覚のグループワークで、スキルの活用練習が可能。**STEP 1**ではモデル素材を通して、活動の基本ルールを理解。**STEP 2**ではロールプレイにより、基本ルールと流れを確認。**STEP 3**ではグループごとにトピックを決めて活動を展開。

STEP 1 Listen and fill in the blanks to complete their explanations.

STEP 2 Make a group of four and role-play Aiko, Keita, Masaki, and Sayaka.

STEP 3 Make a group of four and play a "Talk About It" game.

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-151	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	英Ⅱ・325	DUALSCOPE English Expression Ⅱ		

<p>1. 編修上特に意を用いた点や特色</p> <p>I. 全般的な留意点</p> <p>A. 題材は学習者の人間として調和のとれた成育に寄与するもので、学習者の実生活に即応したバラエティに富んだ内容（言語材料、言語使用の状況など）を取り揃えた。</p> <p>B. 文法をコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、文法指導を言語活動と一体的に展開できるように、随所に文法知識の活用を促す活動素材を設けた。</p> <p>C. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、指示文は極力英語を用いた。</p> <p>D. 事実や意見などについて、多様な観点からの考察や表現上の工夫がなされるように、学習者間の相互交流を意識した言語活動を多く設け、学習者中心の授業展開ができる構成にした。</p> <p>II. 教科書の構成</p> <p>A. SECTION 1 (Essential Rules for Communicative Activities)</p> <p>1. STAGE 1</p> <p>English in Action : その課で学習する文法を、どのような場面・状況でどのように使うのかを確認。</p> <p>TARGET SENTENCES : 表現の骨組みとなる文法を学習。Scope for Expressionでは表現上のポイント等も紹介。</p> <p>EXERCISES : 演習形式で文法知識を定着。</p> <p>Let's Try! : 文法知識を活用し、英語で表現する活動へと展開。</p> <p>2. EXTRA UNIT 1~3, BONUS UNIT (名詞, 冠詞, 形容詞, 前置詞の使い方)</p> <p><EXTRA UNIT 1~3></p> <p>Visual Info : 板書風解説による既習事項の確認。</p> <p>TARGET SENTENCES : 表現する上で基本となる名詞, 冠詞, 形容詞を学習。Scope for Expressionでは表現上のポイント等も紹介。</p> <p>EXERCISES : 演習形式で名詞, 冠詞, 形容詞を定着。</p> <p><BONUS UNIT></p> <p>イラストを表現することで、前置詞の使い方を習得。</p> <p>3. STAGE 2</p> <p>English in Action : その課で学習する構文について、その使い方を確認。</p> <p>TARGET SENTENCES : 構文を各トピック特有の語彙とともに学習。Scope for Expressionでは表現上のポイント等も紹介。</p> <p>EXERCISES : 演習形式で構文を定着。</p> <p>Let's Try! : 構文を活用し、英語で表現する活動へと展開。</p>
--

B. SECTION 2 (Effective Skills for Communicative Activities)

1. STAGE 1

LECTURE ROOM : モデル・パラグラフとその解説を読んで、パラグラフの構造とつなぎ表現の基本を学習。

Check : 活動を通して、つなぎ表現の使い方を確認。

Activity : つなぎ表現を活用して、80語程度の英語で表現 (STEP 1) . その英文を利用して、STEP 2, 3ではペアワーク、グループワークへと展開。

2. STAGE 2

LECTURE ROOM : モデル・エッセイと**CORE EXPRESSIONS**を読んで、各タイプ特有のパラグラフの展開パターンと有用表現を学習。

Activity TASK A : パラグラフの展開を意識して、150語程度の英語で表現 (STEP 1, 2) . その英文を利用して、STEP 3ではグループワークへと展開。

Activity TASK B : **TASK A**の内容を参考に、与えられたテーマから1つを選んで英語で表現する活動へと展開。

CHECKLIST : リストに沿って、エッセイの展開パターンの妥当性を確認。

C. SECTION 3 (Communicative Activities)

1 見開き目 : **LECTURE ROOM**では学習に必要な基礎知識 (用語・基本ルールなど) の紹介。知識の習得だけでなく、準備段階の工夫や実践時の注意点なども確認。

2 見開き目 : 習得した知識を2種類のタスクで活用。**TASK A**はリーディング→スピーキングの活動。各設問に取り組むことで、学習項目 (プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート) の流れが確認可能。**TASK B**はライティング→スピーキングの活動。トピックの選択、展開の工夫から実践まで、学習項目の一連の流れが体験可能。

3 見開き目以降 : **Acting Out**ではゲーム感覚のグループワークで、スキルの活用練習が可能。**STEP 1**ではモデル素材を通して、活動の基本ルールを理解。**STEP 2**ではロールプレイにより、基本ルールと流れを確認。**STEP 3**ではグループごとにトピックを決めて活動を展開。

D. 教材配当表 <B5判・144ページ・4色>

SECTION 1 Essential Rules for Communicative Activities		
STAGE 1 Expressing Using Different Grammar		
UNIT	TITLE	
1	一般の人々／非人称のitなど	
2	Deciding the Subjects of Sentences	
3		句・節／意味上の主語
4		無生物主語／名詞構文
5	Using the Correct Forms of Verbs	
6		現在時制・過去時制／未来を表す表現
7		進行形／完了形
8		助動詞／受動態
9	Using Verbs with Objects or Complements	
10		仮定法
11		準動詞の名詞的用法
12	Modifying Nouns	
13		文型
		使役動詞／知覚動詞
	Using Verbs with Objects or Complements	
		分詞／不定詞／同格
		関係詞の制限用法
	Modifying Nouns	
		関係詞の非制限用法／複合関係詞

EXTRA UNIT 1	Nouns	名詞
EXTRA UNIT 2	Articles	冠詞
EXTRA UNIT 3	Adjectives	形容詞
BONUS UNIT	Prepositions	前置詞
STAGE 2 Expressing on Different Topics		
UNIT	TITLE	
14	What Is Your Dream?	目的の表現／夢・目標
15	How's School Going?	程度・結果の表現／学校生活
16	Will You Join Our New Club?	原因・理由の表現／興味・関心
17	Volunteering Is a Lot of Fun	譲歩の表現／社会・福祉
18	New Smart-X On Sale	比較の表現 1／技術・文明
19	Welcome to Kyoto	比較の表現 2／日本文化・国際理解
20	Recruitment of New Employees	条件・仮定の表現／言語・コミュニケーション
21	Appealing to the World	否定の表現／自然・環境
SECTION 2 Effective Skills for Communicative Activities		
STAGE 1 Expressing in a Paragraph		
UNIT	TITLE	
22	Using Words to Connect Ideas	パラグラフの構成・つなぎ表現
23	Listing / Time Order	列挙・時間的順序
24	Additional Information / Restatement	追加・言い換え
25	Comparison / Contrast	比較・対照
26	Examples	例示
27	Cause and Effect	原因と結果
STAGE 2 Expressing in Paragraphs		
UNIT	TITLE	
28	Introducing Things and Events	事物を紹介する
29	Proposing Ideas	企画を提案する
30	Raising Issues	問題を提起する
31	Weighing Up Pros and Cons	是非を論じる
SECTION 3 Communicative Activities		
UNIT	TITLE	
32	Presenting Ideas Clearly and Effectively	プレゼンテーション - Acting Out ① Talk About It
33	Taking Part in a Discussion	ディスカッション - Acting Out ② Buzz Session
34	Choosing Sides in a Debate	ディベート - Acting Out ③ Mini-Debate

2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
SECTION 1 STAGE 1	<p><内容> (1)-ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (1)-イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p><内容の取扱い> (1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。 (2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。 (3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	<p><内容> (1)-ア, イ Let's Try! ①② (11,13頁他)</p> <p><内容の取扱い> (1) Let's Try! ①② (11,13頁他)</p> <p>(2) English in Action (10,12頁他)</p> <p>(3) UNIT 1~13, EXTRA UNIT 1~ 3, BONUS UNIT</p>	34
SECTION 1 STAGE 2	<p><内容> (1)-ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (1)-イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p><内容の取扱い> (1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。 (2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。 (3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	<p><内容> (1)-ア, イ Let's Try! ①② (47,49頁他)</p> <p><内容の取扱い> (1) Let's Try! ①② (47,49頁他)</p> <p>(2) English in Action (46,48頁他)</p> <p>(3) UNIT 14~21</p>	24
SECTION 2 STAGE 1	<p><内容> (1)-ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (1)-イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p>(2)-イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</p>	<p><内容> (1)-ア Activity STEP 3 (67,69頁他)</p> <p>(1)-イ Activity STEP 1 (67,69頁他)</p> <p>(2)-イ Activity STEP 2 (67,69頁他)</p>	24
SECTION 2 STAGE 2	<p><内容> (1)-イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p>(1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。</p>	<p><内容> (1)-イ Activity TASK A, TASK B (79,81頁 他)</p> <p>(1)-ウ Activity TASK A (79,81頁他)</p>	24

	(1)-エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 (2)-イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。	(1)-エ, (2)-イ UNIT 28～31	
SECTION 3	<p><内容></p> <p>(1)-ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (1)-イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p>(1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。</p> <p>(1)-エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 (2)-ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。</p> <p>(2)-ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。</p> <p>(2)-エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。</p>	<p><内容></p> <p>(1)-ア Acting Out ①～③ (1)-イ TASK A, TASK B (90-91頁他) (1)-ウ TASK A (90,96,104頁) (1)-エ TASK B (91,97,105頁) (2)-ア LECTURE ROOM (89頁), Evaluation Sheet (108頁) (2)-ウ LECTURE ROOM (88～89,94～95,102～103頁) (2)-エ UNIT 32～34</p>	24
Tips for Expression ①～④	(2)-エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。	Tips for Expression ③④	8
後見返し	(2)-ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。	後見返し	2
		計	140

※配当時間は以下を基準として計算.

SECTION 1 STAGE 1

2時間/ユニット×13ユニット=26時間

2時間/ユニット×4ユニット=8時間 (EXTRA UNIT 1～3, BONUS UNIT)

SECTION 1 STAGE 2

3時間/ユニット×8ユニット=24時間

SECTION 2 STAGE 1

4時間/ユニット×6ユニット=24時間

SECTION 2 STAGE 2

6時間/ユニット×4ユニット=24時間

SECTION 3

8時間/ユニット×3ユニット=24時間

差し込み (Tips for Expression ①～④)

2時間/ページ×4ページ=8時間

後見返し

1時間/ページ×2ページ=2時間